

モリ 最上の森林とつながる時代

～森林を起点に、「自分にできる1歩」を考える～

2023年 5月15日 月 13:00～17:00

参加無料 ●要申込み（オンライン参加可）
●会場 先着100名 13:00 会場内でマルシェ開催！

心地よい空気・湧き水・生き物・景観など私たちは多くの生態系サービスに支えられて暮らしています。これまで先人が育んできた山の文化や暮らしと森林と繋がり「自分にできる1歩」を考える場作りをしたいと思っています。

会場 真室川町イベントハウス 遊楽館 山形県最上郡真室川町新町273-2

プログラム

【1】 13:00～ オープニング yori-i projectより 挨拶

【2】 13:25～
『地域資源・森林業の可能性は無限大！』
地域資源アジェンダリーダー 柴田晋吾氏

【3】 13:55～
『最上をエネルギー自給する地域に』
東北芸術工科大学 教授 三浦秀一氏
<休憩>

【4】 14:35～
『日本の森林をモリアゲる！』
株式会社モリアゲ代表取締役 長野麻子氏

【5】 15:20～ 参加型パネル&トークセッション
『森林業と最上の山・暮らし(地域)が共生するには？』
～産業・暮らし・遊び・学び・環境の基盤としての森林の可能性～
司 会

- ・ 長野麻子氏 (株)モリアゲ代表取締役
- パネリスト
- ・ 柴田 晋吾 氏 / yori-i 地域資源 リーダー
 - ・ 三浦 秀一 氏 / 東北芸術工科大学 教授
 - ・ フレッド・ラーワー 氏 / Kamui Kids共同代表
 - ・ 庄司 和敏 氏 / 庄司製材所 代表
 - ・ 梶村 勢至 氏 / 雪と暮らし舎 理事



会場にお越しの皆様

【6】 17:00～ 名刺交換・歓談

17:30 終了

お申込み 右QRコードよりお申込みください
QRをご利用できない方は、下記お問合せ先までご連絡ください

お問合せ 雪と暮らし舎（梶村）
Mail : kajimura@yuki10kurasu.jp
Tel : 090-4523-7351



マルシェ同時開催！

最上地域の特産品販売や
試食・試飲も予定♪

オプションツアー

木質バイオマスエネルギー
利活用ガイドツアー

(株) 庄司製材所の熱利用現場の見学と
+ 『雪のおはぎ・胡桃』とお茶付き
日時：2023年5月15日(月) 9:30-11:30
集合：旧大滝小学校玄関
(マルエスダイニング)
山形県真室川町大字大滝337
参加費：2,000円(現地精算) 事前申し込み
定員：20名



モリ 最上の森林とつながる時代

出演者



柴田 晋吾 氏

東北農林専門職大学(仮称) 森林業経営学科長予定者

**Yori-i 地域資源
リーダー**

京都市山科生まれ。東大農学部林学科卒業後、農林水産省、FAO（国連食糧農業機関）を経て、上智大学教授・大学院地球環境学研究科委員長、パドバ大学客員教授などを歴任。山形県農林水産部勤務。上智大学客員教授。参加・協働型の政策形成やPES（生態系サービスへの支払い）を研究。埼玉県森林審議会会長。著書として「世界の森からSDGsへ 一森と共生し、森とつながる（2022年・上智大学出版）」、「環境にお金を払う仕組みーPES（生態系サービスへの支払い）が分かる本（2019年・大学教育出版）」、「エコ・フォレストィング（2006年・日本林業調査会）」など



三浦 秀一 氏

東北芸術工科大学 教授
建築・環境デザイン学科

講師

1963年兵庫県生まれ。早稲田大学大学院博士課程修了。博士（工学）。住まいとまちの環境計画が専門。やまがた自然エネルギーネットワーク代表。

地球温暖化をはじめとする様々な環境問題を解決するために、住まいの省エネ対策や地域の資源を活用した再生可能エネルギーの導入を研究しています。自治体の地球温暖化対策の計画策定や再生可能エネルギー導入計画策定に関わり、地域の企業や住民とともにその事業化も行っている。



長野 麻子 氏

株式会社モリアゲ 代表取締役

講師・司会

愛知県安城市生まれ。東京大学文学部フランス文学科卒。1994年に農林水産省に入省し、林野庁企画課、フランス留学、バイオマス・ニッポン総合戦略検討チーム、国際調整課、(株)電通出向、水産庁水産経営課、食品環境対策室長、大臣官房報道室長、新事業・食品産業政策課長などを歴任。2018年から3年間林野庁木材利用課長として、木材利用を促進するため「ウッド・チェンジ」を各地で呼び続ける。豊かな森を次代につなぐことを勝手に天命と感じ、2022年6月に早期退職。同年8月に日本の森を盛り上げる株式会社モリアゲ (<https://mori-age.jp>) を設立。



フレッド・ラーワー氏

Kamui Kids
共同設立者

パネラー

アメリカ、ウィスコンシン州出身。千葉県で5年間、高校生に英語を教えた後、鮭川村の外国語指導員として勤務。

カムイキッズは最上郡で森のようちえんを行う団体で幼児期に好奇心、遊び心、社交性、計画性を育むことを目指し、自由に探索し、実験できる環境を提供している。今年の5月からアジャイルラーニングセンター始動予定。従来の教育のように一方的に知識を伝えるのではなく、子どもたち自身が学びの主体となり、自己責任を持って学ぶことを重視。日本の子どもたちの生活を向上させるために、幼児教育、幼児心理・発達、野外教育について研究している。



梶村 勢至 氏

雪と暮らし舎 理事

パネラー

2015年に真室川町に移住し、地域おこし協力隊に着任。移住推進業務に従事する。真室川町の魅力を「昔ながらの雪国の暮らし文化」が色濃く残っているところと見定め、魅力の発掘や情報発信、移住体験ツアー等の活動を行う。一方で、真室川において雇用創出が可能な地域資源を森林資源であると考え、木質バイオマス燃料由来の熱を活かした雇用創出モデルの事業可能性調査に参加するなど模索してきた。夢は、雪国でも実現できる豊かな暮らしの実践。地元のおばあちゃん達の四季に寄り添い手間ひまかける暮らしに憧れている。趣味は溪流釣りや虫鑑賞、軽登山、雪板。



庄司 和敏 氏

株式会社庄司製材所 代表取締役

パネラー

山形県真室川町生まれ。1976年に真室川町大滝で製材業を開始。2006年に初めて導入して以来4基のバイオマスボイラーを稼働させ、樹皮を燃やして得た熱で木材を乾燥させている。このことが評価され、2008年に山形県環境保全推進賞を受賞。廃校の利活用にも取り組んでおり、旧大滝小学校に開設した社員食堂は地区住民にも開放している。また、製材の過程で生じる端材からチップやペレットなどの木質バイオマス燃料を生産している他、余剰熱を活かした地域熱供給の実証実験を行っている。

主催：Yamagata yori-i project（山形県ソーシャルイノベーション創出モデル事業）

共催：真室川町 協力：一般社団法人雪と暮らし舎